



Title	再帰構造論（5）：再帰文タイプの頻度分布
Author(s)	出口, 厚実
Citation	大阪外国語大学論集. 1990, 4, p. 1-25
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/79509
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

再 帰 構 造 論 (5)

—— 再帰文タイプの頻度分布 ——

出 口 厚 実

Sobre las estructuras reflexivas (5):
distribución de frecuencias según el tipo de
construcciones reflexivas

Atsumi DEGUCHI

Las construcciones reflexivas del español han sido siempre objeto de clasificaciones gramaticales tanto prácticas como teóricas. Y el mismo autor ha discutido en más de una ocasión sobre los métodos de clasificación y sus divisiones resultantes. El presente ensayo tiene por finalidad averiguar hasta qué punto son aplicables y justificables estas clasificaciones con respecto a los usos reales sacados de una materia concreta.

Se argumentará la necesidad de introducir algunos tipos o subtipos nuevos que, aunque desempeñan un papel importante desde el punto de vista funcional, han pasado inobservados o sin recibir la debida atención.

El estudio cuantitativo se ha hecho para todas las oraciones reflexivas encontradas en las dos novelas "La llamada" y "Un noviazgo" por Carmen Laforet. Los datos se clasifican en uno de los catorce tipos de reflexividad establecidos por el autor.

Los resultados del recuento realizado se presentarán en Cuadro (7) que da frecuencias absoluta y relativa según el tipo, y en Cuadro (8) en el que se indican las frecuencias detalladas con respecto a la forma verbal.

También nos ocuparemos de los problemas que presentan las oraciones tipológicamente ambiguas y de los ejemplos aislados e idiosincrásicos así como los residuos inclasificables.

0. は じ め に

多様な文法的特徴を呈するスペイン語の再帰文の異同を整理し、タイプを認定し、いくつかの類型にグループ化したり、その階層関係を明らかにする試みは再帰辞の本質の解明と密接に結び付いている。タイプ論に言及するとき、まず、再帰形式の弁別の仕方に2つの異なる視点がある点を指摘しなければならない。1つは再帰辞 *se* 本体に固有の様々な弁別機能があると仮定し、その分離と抽出をめざす「再帰辞分類法」である。それに対立するのが、再帰(構文)の統語・意味・語用論的特徴の検討を目標とし、「再帰辞」が異質な諸機能を秘めた homonym であるという前提を設けない分析立場である。筆者が出口 (1982b) (1982c) (1983b) (1989a), etc. で用い、本稿でも踏襲するのは後者の見方で、再帰構文、i.e. 動詞と再帰辞の一体化した形式に対するタイプ分類である。

さて、再帰構文を特徴づける場合で、峻別されなければならないのは特定の用例における“再帰構造のタイプ”的認定と、語彙項目としての1つの再帰動詞がどんなタイプに属するかという区別である。特に断わらない限り、小論で用いるタイプはすべて前者を意図している。後者の分類は一般的非再帰動詞に適用される様々な尺度でなされ得るほか、「再帰構造のタイプ」という特徴自体によっても弁別されるが、この面の実態は未詳である。

出口 (1983b) では、スペイン語再帰文を特徴づけ、分別 (そのほとんどが2値的に分割) するのに役立つと目される多数の統語・意味的基準が仮定され、再帰構造の具体例や類型がそれらの分類素性の複合として規定されるであろうと考えた。また、その際、タイプ類別の1試案も示した。この稿の主目的は前述の諸稿で設けたタイプ分類が実際の再帰構造の事例に対してどの程度適切か、Corpus の用例に当りながら検討することである。

1. 再帰自動詞の細分化

1. 1. 再帰自動詞

一般的参考文法書や伝統的な文法記述における「再帰動詞の分類」、「再帰動詞の用法区分」の中で最大のクラスを構成するのは、呼び名は一定しないが、「自動詞化用法」とか単に再帰自動詞とか称される種類の再帰動詞を含んだ構文である。このグループは本来の再帰目的語を伴う狭義の再帰表現、固有再帰、再帰受動、Impersonal、相互、任意付加の *se* 等のタイプを除いた境界線の不明確な、包括的なラベルとして用いられるケースが多い。ただし、別途に存在する非再帰他動詞と核的な意味を共有し、かつその“自動詞版”に相当するという、かなり曖昧な統語関係が想定されて来たようである。それ以上細部に及ぶ文法上の類型化があまり追求されなかつた理由としては、「受動」や「Impersonal」の文形式と違って、これらは生産的プロセスでなく、個々の動詞語彙項目に依存する語彙的な現象であるという認識があるためであろう。確かに一律に規則化したり、単純な公式に還元するのは不可能であるとしても、それは、直ちに、このような再帰自動詞群が分析できない一体性を内含することを意味しないし、また、反対に、「自

動詞化」以外の共通項でくくり出すことの不能な雑多な動詞の寄せ集めであると実証されたわけでもない。

再帰文の分類で常套される他のカテゴリー名が統語・意味的な十分な吟味を経て設定されているかどうかについても、もちろん、再考の余地があるだろう。が、ここでは、再帰文の大黒柱とされる、この肥大したグループに照準を合わせることにした。そして、この中には、なお一般化されるべきパターンや中小類型が存在することを指摘したいと思う。この範囲の中でもさらに精査されれば、恐らく、新タイプが追加される可能性もある。「再帰自動詞」という分類項目は、既存のタイプにうまく収まらない再帰表現をすべて吸い上げるための、「その他」、「残余」を隠れ名とする便利物入れであったのではないかと疑われるからである。

Schroten (1972:85-89) は (1) a-c のような文タイプに注目し、それぞれ「再帰文の第3、4、5型」と呼び、はっきりと別タイプに位置づけた。

- (1) a. Juan se asustó.
- b. La tabla se alabeó.
- c. Juan se levantó.

拙稿 (1983b) もこれらを「非使役(反使役)」として分離すると共に、3種を再帰文主語の意味役割によって細区分した。これらの類型は雑多な「再帰自動詞」のごた混ぜに埋没させるべきではないという消極的な立場ではなく、むしろ再帰辞の機能中枢で基軸的な役割を担うタイプとみなしてきた。また特に、出口 (1983a) では「受動」のタイプと「非使役」は実際に考えられて来た以上に、強い相似を示し、互いに重なり合う事実をも示唆した。ところで、「非使役」型式を分離した後にも、なお抽出されるべき重要な文法パターンが見出されることを出口 (1989a, b) で取り上げたが、今回の調査の動機の1つは、この類型の重要度を実データで裏付けたい点にあったので、次項でこのタイプを再び概観しておきたい。

1. 2. 非対格

すでに出口 (1978a:64, 1979:53, 1983b) で「反受動 Antipassive」または「反絶対格 Un-Absolute」の亜種として識別した、例文 (2b) (3b) で *olvidarse*, *equivocarse* が示す再帰構文は、その統語的特徴から1つの独立タイプとして認められ、相当数の類例が発見される。

- (2) a. Olvidé su nombre.
- b. Me olvidé de su nombre.
- (3) a. Equivoqué el camino.
- b. Me equivoqué de camino.

出口 (1979:52) では20余の動詞を例示したが、さらに多数の該当構文が存在することは拙稿 (1989b) で追証した。これらの構文を「非対格」Anti-accusative と呼ぶことにするが⁽¹⁾、少なくとも3種に下位分類することが出来る。「非対格」とは、非再帰形の原動詞が主語として選

択する意味項がそのまま再帰動詞文の主語として立つことができ、かつ、非再帰構文では直接目的語として下位範疇化される意味項が降格する (i.e. 直接目的語ではなく斜格目的語として表されるか、または削除される) ものをいう。図式化すれば概略 (4) のように示されるだろう。

(4) 非対格化⁽²⁾

Su _i	V	DO _j
Su _i	V—se	Ø (OO _j)

ただし Su : 主語 DO : 直接目的語 OO : 斜格目的語

i, j : 同一の意味役割 se : 再帰辞

斜格目的語 (OO) はスペイン語では前置詞に先導される動詞補語の 1 種であるが、これが任意的であるか、あるいは共起できない、あるいは必須であるかによって、(4) はさらに下記の A, B, C に 3 区分される。

(5) A 任意的

- a) Olvidé su nombre.
- b) Me olvidé de su nombre.
- c) Me olvidé.

B 共起不可

- a) Fijé la mirada en él.
- b) Me fijé en él.
- c) *Me fijé de(con) la mirada en él.

C 義務的

- a) Encontré a Juan.
- b) Me encontré con Juan.
- c) *Me encontré.

このタイプの再帰文における OO の有無は、見方を変えれば、旧 DO の降格がどこまで貫徹されるかの度合の違いである。完遂されて消去されなければならないのが B グループで、遂行されて削除にまで至り得るのが A 群である。相互動詞の 1 変種ともみなされる C の構文では削除してしまうことができない。

非対格タイプの再帰形式と原動詞の間に意味的定数を認め得るか、また何故 3 つのバリエーションが存在するのか、それぞれの統語的特性が原動詞意味と関連しているかどうか、などまだ論じられるべき点は多く残されているが、3 亜群をつなぐ意味上の共通核が内在するものと仮定する。

2. 再帰構造のタイプとその頻度

2. 1. タイプと使用頻度

スペイン語再帰文の分類は各種の目的で数多くなされている。しかし、グループ分けされた各

タイプが実際の使用において果たす相対的な価値、あるいは重要性が言及されたり、データで実証された例は殆どないように思われる。提案された分類法が現実の使用状況をカバーしているかどうかを確認するためにも、一定の連続テキスト文に発見される全用例を通覧してみるのは有意義であろうと考えた。

今回的小規模な調査で見た対象データの総数705は十分な数とは言えず、また結果値を比較する先行研究が手元に見当らないため、得られた数値がスペイン語再帰構造の傾向を知るためのサンプルとして信頼できるかどうかは疑問である。ただ、より大きなCorpusや使用域の異なる資料体調査が将来なされるときに、1つの参考指標程度に役立つことはあろう。度数計算の基となつたテキストは“Carmen Laforet”の短編小説“La llamada”と“Un noviazgo”的2編である。この2編に含まれる再帰表現をすべて抽出して、その構文タイプを検討した。作業基準として設けたのは(6)で示される14種の類型である。

- (6) 1. 自己再帰
- 2. 非対格
- 3. 繰上げ再帰
- 4. ‘止動’動詞の再帰
- 5. 相互
- 6. 付加価値の再帰
- 7. 非使役 動作主主語
- 8. 非使役 経験者主語
- 9. 非使役 被動者主語
- 10. 受動
- 11. 間接目的語 非使役
- 12. 自発与格
- 13. 弱受動 (Impersonal)
- 14. 不可逆再帰

それぞれの類型に対する厳密な規定を予め設けて臨むのではなく、むしろ実際例の帰属に対して境界上の揺らぎは受容して、どの項目に最もマッチするかを判定するという方針をとり、基本的な特徴が共有されるか否かが判断され易いような目安となる範例文を挙げるにとどめた。つまり、タイプの適合性チェックを厳しくして、未解決の孤立的事例を増すよりは、弾力的に審査して分類不能を少なくする方を選んだ。(6)のリストでは、従来の再帰構文の分類で最重視されている、直接再帰／間接再帰という2大別を採用しなかった。これらは再帰構造のタイプとしては他のタイプと相互排除的に対立するものと考えられないためである。再帰辞が直接目的語、間接目的語のいずれでもない、あるいはいずれか不分明なケースも少なくないので、全再帰タイプの上位区分範疇でもない。直接・間接の基準はある種のタイプの下位区分に役立つ2次分類素性とみ

なされるであろう。

2. 2. 各タイプの概要と見本文

前掲 (6) の14クラスを大きく2群に分けるマクロ特性としては、「保主語的」／「反主語的」の2分法を用いる。「保主語的」(Pro-subjective) というのはその非再帰動詞が主語として選択するNPが、そのまま再帰動詞の主語に選択される諸タイプを包含する特性である。

自己再帰文 (Auto-Reflexive) は保主語再帰文の典型であり、再帰辞が直接目的語・間接目的語のどちらであってもよい: *Juan se mira en el espejo*⁽³⁾。自己再帰文の中には自己の一部分を再帰目的語とする *Se sonó ruidosamente* や自己使役再帰文 *Me afeito en la barbería*、etc. のサブタイプが含まれるものとする。第1章で取り上げた「非対格」(Antiaccusative) は、明らかに非再帰文と再帰文で同一種の主語と結合関係をもつので (cf. (4))、保主語的である。*Se consideraba rico* に見られる *considerar* や類似の構造を示す *creerse, imaginarse* の再帰文は越境再帰 (縦上げ再帰)⁽⁴⁾ (Raised Reflexive, Transclause Reflexive) と名付けるが、最終統語構造では典型的な自己再帰文にごく近い。そのほか、*irse, quedarse, estarse* など「止動動詞の再帰」、相互動詞も保主語的であるのは間違いない。No me imaginaba que fueses tú におけるような *imaginarse* や *figurarse* などの類例は「付加価値の再帰」という項目に分類したが、やはり保主語再帰のグループに入る。「付加価値」のタイプは互いに相異なるいくつかの下位種に区分される筈であるが、ここでは論じない。*dormirse, morirse* のような自動詞も *comerse, tragarse* 等の他動詞の例も共に含まれるものとする。

一方、反主語的な再帰文の主語は、その非再帰動詞が主語として選択するものと異なるか、あるいは主語を選択結合しない点で、保主語グループと対立する。「非使役 (反使役)」Decausative (Anti-causative) は再帰動詞全体の中でも最大のクラスを構成し、出口 (1983a) でも、さらに3亜種に細分した。*Se levantó a las seis* のように再帰構造で主語が動作主であるもの、*Me he aburrido en la reunión* のように主語が経験者と見なされるもの、及び被動者主語で特徴づけられるもの (p.ej. *El café se ha enfriado*) の3タイプを区別した。いずれの場合でも、非再帰形動詞が直接目的語として下位範疇化する NP が再帰文主語に対応するので、反主語的である。さらに、*Me encargo de eso* における *encargarse* は非再帰構造の間接目的語が主語化し、使役性の失われた「間接目的語非使役」に該当し、これも反主語再帰文に属す。

再帰受動文も同様に旧直接目的語が昇進したケースであり、反主語的である。この中には、有生 (人間) 主語をもつ再帰受動も含まれる。*llamarse* の通常の用法、「と呼ばれる、という名をもつ」も受動の1種と見なす: *Se llama Juan*。出口 (1983b) で例示した、直接目的語以外の文法関係から再帰文主語へ昇進したと考えられる文、例えば *Este cachorro se sale* (<場所格) は、「自動詞受動」とでも呼ばれるべき別種と考えるが、やはり反主語的である。他動詞を原動詞とする再帰構文に与格付接辞が連接するケースはそれが義務的でないときでも、1つのタイプ

として独立させた。例えば、*Todo se me olvidó* のような文で、これを「自発与格」Spontaneous Dative と名付け反主語文に分類した。問題の原動詞が自動詞であれば保主語再帰文のいずれかの型に還元した。すなわち、*Se le murió la madre* や類似の文は「付加価値の再帰」に数えることにした。しばしば、非人称、不定主語文などと呼ばれる類型は、分かりやすいように Impersonal というラベルを使用したが、広義の受動文の1種であり (Cf. 出口 (1983b) 弱受動)、対応原動詞が選択するはずの主語を持たないから、前述の定義からして反主語的である：*Se está bien aquí*。

反主語・保主語の2項対立は非再帰動詞(原動詞)の存在を前提としているので、*suicidarse*, *arrepentirse* のような、通例、再帰形式に専用される動詞には適用され得ない。これらの再帰構文は、Geniusiene (1987) の用語に倣い、「不可逆再帰」Irreversible Reflexive と呼ぶことにする。

2. 3. Corpusにおける再帰構文の分布

対象テキスト資料体が含む全再帰文を抜き出して、前述(6)の14型のいずれに合致するかを判定し、それぞれのタイプ別の頻度値を得るのが第1の目的であった。ただし、同時に、個々の動詞の形態種別(定／不定形・法・時制)も参考情報として記録した。散文中心の文章語コーパスに用いられる再帰文の全般的な傾向をつかめるのではないかという安易な期待で始めた作業であったが、実際の連続テキストに出現する対象動詞を漏れなく検討しその所属を逐一決定するのには予想以上に困難な判断を迫られる難事であることが分かった。再帰構文をめぐる議論の中ではそのパターンやタイプが絶えず言及され、引証され、立論の支柱になるほど重要な役目を負わされることも少なくない。だが、そのような記述に登場する範例文は、無意識のうちに、いわば無難な雛型に偏ってしまう事実が十分認識されていないことを改めて反省させられた。実際、既成の分類枠に収まらない事例が少なからず発見されるし、2つ以上のタイプのいずれか判定しにくい再帰表現も数多く見出された。また、採取した標本数が増すに従って、当初、基準と考えられたものを調整・修正したり、一度は処理した帰属を変更することも稀ではなかった。類別化の過程でフィードバックされた情報によって、実は元々ぼんやりしたグループ化であった(6)の各項目間に、徐々に鮮明な境界線が見え始めた部分もある反面、カテゴリー化に不備があり差異の過大評価や軽重の誤りを示唆するデータにも出会った。それらの詳細と所属決定を留保した文等については次節に譲るとして、調査資料体に見出される全再帰動詞構文のタイプ別頻度を(7)に示す。なお、分類記号は表(8)及び付表のデータ一覧の種別略号と符合する。

(7)

タイプ	頻度数	%	分類記号
I. 保主語型			
自己再帰	63	8.9%	a

再 帰 構 造 論 (5)

非対格	69	9.8	q
越境再帰	61	8.7	v
止動の動詞	47	6.7	m
相互	12	1.7	r
付加価値	27	3.8	n
II. 反主語型			
非使役動作主	140	19.9	d
非使役経験者	62	8.8	e
非使役被動者	62	8.8	p
間接目的語非使役	36	5.1	x
自発与格	17	2.4	y
受動	58	8.2	j
Impersonal	10	1.4	i
III. 不可逆	18	2.6	s
未決定	24	3.4	z
合計	705	100.0	

また、上記の各タイプ別頻度を動詞の形態種別とクロス集計したのが次頁の表（8）である：

動詞語彙の異なりは246であったので、単純平均で1つの再帰動詞が2.87回出現していることになる。なお、動詞別頻度はテキストの内容に左右されて、かなり偏った数値を示していると考えられ (Cf. (9))、類型の頻度値を見る際に、このことも考慮に入れなければならないだろう。

(9) 動詞別頻度の上位15語

casarse	40	encontrarse	10
sentirse	35	fijarse	10
darse	31	acercarse	9
ponerse	27	atreverse	9
volverse	19	levantarse	9
irse	17	sentarse	9
quedarse	15	acordarse	8
		ocurrirse	8

表(8)

再帰動詞構文のタイプと頻度

	a	q	v	m	r	n	d	e	p	j	x	y	i	s	z	計
直 現 在	5	11	7	6	3	4	6	5	3	4	3	1	6	0	2	66
直 線 過	5	10	23	4	1	4	11	8	11	17	4	6	2	5	2	113
直 点 過	16	13	15	10	4	1	41	16	17	12	14	4	0	7	10	180
直 未 来	1	2	1	5	0	0	2	1	0	3	0	0	0	1	0	16
直 現 完	1	5	0	0	0	2	3	1	2	2	1	0	0	0	1	18
直 過 完	6	5	1	2	0	7	11	3	7	1	2	2	0	1	2	50
直 前 過	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
直 未 完	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
直 条 未	3	0	1	0	0	0	1	0	1	1	0	1	0	0	0	8
直 条 完	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2
接 現 在	0	3	1	3	0	0	5	5	1	2	0	0	0	1	0	21
接 過 ra	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	1	5
接 過 se	2	2	0	0	0	0	7	2	2	0	2	1	0	0	1	19
接 未 来	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
接 現 完	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
接 完 ra	0	0	0	0	0	1	2	1	0	1	0	1	0	0	0	6
接 完 se	1	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	3
接 未 完	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
命 令	0	2	0	4	0	1	2	2	0	0	0	0	0	0	0	11
現 分 詞	3	3	3	0	0	0	4	2	6	0	0	0	0	1	1	23
現 分 完	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
不 定 詞	20	11	8	12	4	7	44	15	9	14	8	0	2	2	3	159
不 定 完	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	3
合 計	63	69	61	47	12	27	140	62	61	58	36	17	10	18	24	705

3. タイプ化の問題点

3. 1. 両義的タイプの分類

<abrirse>

再帰文の「受動」と「非使役」両タイプの間に認められる統語・意味上の親近性については既に他所（出口1982c, 1983a）で指摘したが、ごく平凡な動詞 *abrir*(se) の実例、#2—#8でも、そのタイプ帰属に両義的解釈を容れる余地があることが確かめられる。「(強)受動」型再帰の意味的特徴は被動者を視点の中心にし、かつ有生動作主の潜在を前提にした被動関係が成立する点にある。

#3, #5 *Unos minutos después la puerta se abrió y apareció una alegre habitación, y una alegre galería de cristales donde cantaban en su jaula dos canarios y se abrían flores en macetas.*

#4 *Luego se abrió una puerta.*

両文ともこの部分は‘ドアが開いた’と訳されるが、‘開けられた’とするのも不可能ではない。文脈から行為者は特定できるからである。しかし、実行者が感じられるか否か、あるいは被動者側へ話者が関心を寄せているか否かは臨界を決めにくい不連続な推移域である。*abrirse* 構文に対する *por sí mismo* 付加テストは文脈から自由な短文例に、極端な被動者寄りの状況をセットアップ出来るかどうかの直観を調べるには役立つであろう。だが、上文のような *se* を「自発（または中動・自動）の *se*」と「受動の *se*」に確然と2分割する裁定者にはなれない。文脈から切り離された前掲例文#3に副詞句 *por sí misma, por sí sola* を付加できるとしても、この文の直前には扉を開けた人物を明示する文 *Mercedes siguió a la señora a lo largo de un pasillo oscuro* があり、「ひとりでに開いた」と両立不能なのは明白である。

#2 ...y adonde se abrían muchas puertas

さらに、#2の*abrirse*は、‘(. . . に)面する’の意で用いられ、*abrir*の‘(窓などの)開口部を作る’という語義に伴う語彙的完結アスペクトが失われ、開口部を開いた実行者は時空的に描写の現場から遠い。このような場合には*abrirse*を*abrir*から断絶させたり、「受動」には適合しないと見る立場もある。しかし、#2, #3, #4の基点となる語義が*abrirse*に共有されていて、前者の他動詞構造が明らかに有生主語を選択する事実を踏まえて、本稿はこれらを‘受動’に分類することにした。

#7 *algo que era como capullo cerrado abriéndose.*

一方、#5, #7に見られる花やつぼみの開きは人為的でないので‘非使役被動者’のタイプとした。

<acentuarse>

#16 *el parecido que don Juan encontraba en su cara se acentuó en vez de . . .*

文脈から判断すれば、#16の *se acentuó* は‘強まった、顕著になった’の意を表しており、有

生物の介入は認められない。そこで「非使役被動者」の1例とした。もし、この動詞が「強調される、アクセントを有する' etc.等の意味で使用されるならば、「受動」タイプと考えられる。

<ahogarse>

『非使役』パターンを呈しているのは確実であっても、再帰文主語が「被動者」か「経験者」か微妙な場合がある(Cf. #47)。

#47 ... y le pareció que se ahogaba.

ここでは、人間の状態‘息が詰まりそうになる、息苦しくなる’を描写しているが、感情動詞 sorprenderse, alegrarse, etc.の動詞群との近似を認め得るかも知れない。しかし、‘溺れる’の語義の時に一層はっきりとするが、物理的な変形・変質の度合が著しいプロセスについては、その名詞句が有生であっても「被動者」の下位区分の中に含めた。言い換えれば、ahogarは動詞 matar ‘殺す’により接近した語彙意味を持つと判断したことになる。

<apoderarse>

原動詞apoderar ‘(. . . に) 支配権・所有権・権限を与える’と再帰形 apoderarse (Cf. #60) ‘我がものにする、乗り移る’の間には、やや不透明だが、直接目的語の昇進と非使役化が絡んでいると見る。

#60 Una súbita timidez se apoderó de él...

#60のtimidez、#61の主語である el que はいずれも無生物を指すが、行為の発動・発始の責を負う執行者の役柄と考えられるので、「非使役動作主」のクラスに含めた。

<arrugarse, encogerse>

#78 Se había ido arrugando y encogiendo con los años aquella buena señora...

上例で‘しわが寄る’‘縮こまる’を表す arrugarse, encogerse の主語は人間であるが、前述 ahogarse のケースと同じ理由で、経験者とはみなさず、「非使役被動者」と分類した。なお、#295のencogerse ‘(. . . を) すぼめる、引っ込める’は「非対格」のタイプに属する。

#295 Luego se encogió de hombros.

<confesarse>

#153 Alicia . . . nunca se había confesado que su enamoramiento por De Arco...

#154 . . . no se había atrevido a confesarse a sí misma que...

出口(1979:52, 1889:6)で示したように confesarse は「非対格」構文を許容するが、上例 #3-4 は直接目的語の que 補文に付加価値的な再帰辞が共起した事例ではないかと判断した。

<darse>

動詞成句 darse a todos los diablos (=激高する) の一部を形成している darse (Cf. #192)と少数の例外を除いては darse cuenta として出現している。

#195 Ella se dio cuenta de la mirada del caballero.

idiom 化した表現であるのは事実だが、dar cuenta de ‘. . . を知らせる’の用法を考慮すれ

ば、間接目的語が再帰文主語に昇進すると同時に非使役化が生じるという分析が可能である。従って「間接目的語非使役」のタイプと認定した。同様に、#211の *darse prisa* も *dar prisa* の「非使役」対応形式とみなした。

#211 *Se dio prisa a abrir la puerta.*

<*dejarse*>

この再帰動詞に不定詞が後続する構文を「越境再帰」に分類したのは次の理由による。

#233 *No hay más que dejarse llevar por un impulso sano y generoso...*

例文#233では *se* は明らかに *dejar* の主語 *pro* と同一人を指示する。だが、#232, #234のケースにも見られるように *dejar* は有生主語を必須条件としないので、「自己再帰」タイプに適合しない。むしろ、下位節で受動化された旧目的語の上位節への繰上げの結果生まれた節内同一指示性に基づく再帰文と見るべきだろう。

(10) *X dejar (un impulso ... llevar X)*

X dejar (X llevar ... por un impulso)

X dejar (X oír una (la) voz de ...)

#232, #234もまた、上位節直接目的語へ上昇した元 *pro* 主語との coreference から *se* が生起すると分析することができる。

<*despedirse*>

辞書項目 *despedir* には‘見送る’、‘解雇する’、‘(光などを)放つ’等の語義が記載されており、一方 *despedirse* は前置詞 *de* と共に用いられて、‘別れを告げる’、‘辞する’、‘諦める’を意味する。他動詞に見られる前記3意味に共通する核心は、項Xを主語とし、項Yを動詞の直接目的語とすれば、(11)のように《XがYをXから分離させる》と記述される。

(11) *X HACER (Y SEPARARSE DE X)*

従って、#247などの *despedirse* はこの中の *X HACER* が欠落し、Yが主語化した「非使役動作主」の類型と見なせるだろう。

#247 ...me despediré de De Arco sin más explicaciones.

<*empeñarse*>

原動詞 *empeñar* は‘(何かを)質入れする；(言質を)与える’を表すが、その基盤に‘(保証として何かを)差し出す、預ける’という意味がある。再帰動詞 *empeñarse*(‘固執する、言い張る’)は、保主語的であり、主語自身の‘言質’、‘確実さの保証’、‘履行の決意’などが含意された直接目的語がゼロ化された‘非対格’タイプの1種と関連づけられる。

#289 *se empeñaba en verle por asuntos de negocios.*

<*explicar*>

#334 ...nadie se explicase por qué

‘納得がいく、理解できる’の語義で用いられる *explicarse* は、*explicar*+間接目的語の構造

‘(誰かに) 分からせる、理解させる’から間接目的語が昇進し、《使役》性が揮発する「間接目的語非使役」の対応関係が認められよう。なお、紛らわしいケースだが、‘説明して分かってもらう’ = *dar explicación es, explicar sus ideas* の意味ならば、この再帰構造は「非対格」タイプとなるはずである (Cf. 出口 (1989a))

<enterarse>

#318 *En cuanto Alicia se entere de mi régimen, ...*

#319 *No quiere que se enteren ni mis sobrinos.*

この再帰動詞は‘(. . . を) 知る、(. . . について) 情報を得る、(. . . に) 気づく’を意味する。上文の主語はいずれも他動詞 *enterar* ‘知らせる’の被動者直接目的語としてふさわしい種類のNPで、一方、*enterar* の主語は、通常、情報提供者となる人間であるため、「受動」と分析した。既述 *abrir* の場合では (Cf. #3, #4)、動作主がコンテキストから指定できるのに対し、#318-9 にはそのような媒介者は復元不可能である。情報が転々と伝播したり、‘一定の事情’の様な不定無生物が *enterar* の作因となる状況も想像し得るが、そのような不定・複合の抽象的 Agent よりも不定人間を深層の主語を設定する方が不自然さが少ないようと思われる。

<interrumpirse>

‘中断する、打ち切る’は‘中止するようにさせる’と言い換え、その1部に使役性を認める分析も可能である。しかし、文#383は〈自分の話を〉中断した、と解釈され、非対格Bタイプ (Cf. (5)) とするのがより適切であろう。

#383 *Se interrumpió con súbita timidez al advertir a don Juan.*

この語義で *interrumpir* は [−animate] 主語と組むことができるから、「自己再帰」の1種とは扱わなかった。

<ocuparse>

再帰形 *ocuparse* に見られる語義‘従事する、(. . . の) 世話をする’は原動詞 *ocupar* (事柄が) (人に) 時間をとらせる、使用させる’の意と関係づけられる: *El trabajo me ocupa las tardes* (私は仕事で午後は体があかない)⁽⁵⁾。この再帰文の主語は旧間接目的語であるので‘間接目的語非使役’タイプということになる。

3. 2. 分類留保の構文

予め準備した14型のタイプのいずれにも帰属させるのが困難な文は合計24を数えた。これらがすべて、それぞれの固有特徴をもち、互いに独立する異種であると断じたわけではない。今後、さらに新しい観点から既成の基準の見直しや修正がなされれば、それらと同一範疇を構成するかも知れない。また、もっと網羅的な研究を通じて新タイプが追補され、その一員となる可能性もある。

以下に例示されるように、未定のまま残されたのは、2つ以上の類型に合致していてどちらか

一方に決定し難いというケースよりも、近似的なパターンは認められるが、逸脱する特性も持ち、同種例が発見されず、この段階では独立させられないような構文が多い。

#96 Doña Ana, aterrada, se batió en retirada para siempre.

#241 ..., descolgarse a los setenta años con una escapada a un local nocturno,...

例文#96のbatióseは後続するen retiradaと共にむしろ成句表現(=‘退却する、引き下がる’)を成し、他動詞batirとの語義とも対応がつけにくい。batióse‘戦う’がbatir‘打つ、叩く’と‘非対格’の対文になると考えられないことはないが、その関係は不透明過ぎる。次例descolgarseは‘ひょっこり現れる’の意味だが、やはり、descolgarの‘降ろす、外す’との間に分有核部を見出しつづく。

#284 ...se echó a llorar sin consuelo.

#531 En seguida se puso a charlar.

未分類項の中で合計7例に達する、動詞迂言法echarse+不定詞、ponerse+不定詞の示す‘開始’の語彙意味とechar,ponerとの語義との間には、単なる接点以上に共有される実質があるだろうか。一見、対応する他動詞構文に見えるponer+不定詞は、例えば、poner a secar la ropaのように使われ、まだ‘配置’の所格的意味が明瞭である。従って、これをponerse+不定詞のベースと仮定しつづく。

#489 Aquel muchacho se parecía mucho a otro.

‘...に似ている’を意味するparecerse aとparecer‘...みたいである’の意味には重なり合う部分がかなりありそうである。Parece un juez / Se parece al juezを並べてみると、一見、‘非対格’タイプとの類似を思わせるが、第1文のun juezは直接目的語と判定しつづくので、(4)の条件を満たさない。他方、parecerse aと標準的な相互文の類似は明らかで、分裂再帰文(Cf. Deguchi 1989b:10)の生起プロセスを借用できるかも知れない。

(12) A parece B

B parece A

A y B se parecen → A se parece a B

しかし、問題は直接目的語も間接目的語も関与しない構造(12)に何故seが出現するかという点である。相互代名詞化規則がこのようなケースを射程に入れるかどうかは、多分に疑わしいので、#489を‘相互’と分類することに躊躇した⁽⁶⁾。

分類を保留した構文で最も頻度の高かったのがocurrirseで#461-2を含めて8例を数えた。

#461 Y más tarde se le ocurrió una idea

#462 ...que hasta se me ha ocurrido invitarte a cenar en algún sitio.

ocurrirとその再帰型は共に3人称形でしか使用されない点で共通し、語彙意味の似寄りも認められるが、morirとmorirseのような‘付加価値の再帰’のsub-typeと同定するのには不十分

だと感じた。また、当初の定義から「自発与格」は反主語的であるという大枠がはめられていて、#461-2のような事例を吸い上げることが出来ない。「自発与格」形式 (p.ej. #417 *llenársele los ojos de lágrimas*) に与格表示が義務的な再帰構文及び「付加価値」の再帰自動詞文の間に機能上の共通項が潜在するらしことはしばしば指摘されている (Cf. 福島 (1983, 1984))。筆者の基本的な視角は、これまで仮設した各種類型間の垣根を堅固な障壁に作り上げることではなく、2つのタイプを越えて、あるいはいくつかのタイプに渡って行き来する小域バタンやより一般的な原基の重要性に注目することにある。従って、*ocurrirse* が未分類に置かれたとして、他の再帰文型との間に見られる平行性を過小に見積もったり否定するものではない。

終わりに

再帰動詞構文のいくつかの類型間には截然とした境界線がなく、安易なタイプの設定やそれに基づくグルーピングがかえって再帰形式に潜む統合的な実像を疊らせているのではないかという点を幾度か示唆してきた。今回、小規模な全数調査を試みて、上述の危惧が杞憂でないことを改めて実感した。関連文脈で言及される既存のタイプと部分的に不整合なもの、両義性のあるもの、タイプ間の中間に位置するもの、分類不可能なものなどが頻出する事実は、今後、類型間の類似度や隔たりを評価する形式的な方法の確立を含め、総合的なタイプ論を育て結実させて行かねばならないことを示している。

注

- 誤解され易いので、重複を知りつつ再記するが、このラベルは語彙単位としての動詞に与えられる属性 (i.e. 「再帰動詞のタイプ」 <0. <はじめに>参照) ではなく、再帰構造のタイプとして用いている。従って、動詞 *olvidar* を含む文は「非対格」のほか、「非使役」「受動」「Impersonal」の類型に属する可能性もある (Cf. Deguchi 1989b: 2)。
- このような統語関係の変換が、能格体系言語の文法関係を視座にして見直すと、ちょうど受動の反転に相当することが分かる。以前、出口 (1978a, 1978c: 25-26) で反受動 Antipassive と名付けられたのはその理由による。
- Wonder (1990: 402) はこの種の文を「再帰性」のプロトタイプではないと主張する。筆者は、逆に、これを *lavarse* などと同様に「自己再帰」の原器と見て差し支えないと考える。
 - Lo miré en el espejo.*
 - Lo lavó.*
 非再帰文 i) ii) の差がそのまま再帰動詞 *mirarse*, *lavarse* にも現れるのであるから、「生身の体」であるか否かが、再帰構造のタイプや種別と関わるとと思われない。
- De Fazio (1971: 56, 127) はこの *se* を「基底次節の主語である」再帰代名詞と分類している。しかし、本調査の Corpus #476 に見られるように基底文の直接目的語に遡ることもある。
- 桑名一博他 (1990: 1369)
- 相互文の再帰 clitic 化を蒙るのは目的語だけではなく、代用形式 *lo* に代替され得るある種の nominal も関与する、と主張しなければならないだろう。

参考文献

- Cartagena, Nelson (1972) *Sentido y estructura de las construcciones pronominales en español.* Concepción, Chile.
- De Fazio, Sheila Corrigan (1971) *Separating the uses of se in Spanish.* Ph.D. dissertation, Georgetown University.
- 出口厚実 (1972) 「SE受動文と再帰文のシタクシス」 —HISPANICA 16, p.1—16
— (1973) 「格文法とスペイン語再帰文の動作主格」 —Estudios Hispánicos 3, p.57—73
— (1975) 「SEはどこからくるか—スペイン語の再帰動詞構文について」 —HISPANICA 19, p.70—84
- Deguchi, Atsumi (1978a) *Antipassive and Reflexive Passive in Spanish* — Lingüística Hispánica 1, p.54—74
- 出口厚実 (1978b) 「スペイン語 se 統一仮説に向けて」 —大阪外国语大学学報42, p.1—14
— (1978c) 「関係文法とスペイン語の反受動文・再帰受動文」 —Estudios Hispánicos 5, p.19—32
- Deguchi, Atsumi (1979) *The Syntax of Direct Objects in Spanish.* — Lingüística Hispánica 2, 45—62
— (1982a) *On Reflexive Structures (2)* —Lingüística Hispánica 5, p.33—45
- 出口厚実 (1982b) 「SE構文の分類とSEの種類についての小考」 —Estudios Hispánicos 8, p.1—13
— (1982c) 「SE構文の類別とSEの内包」 —大阪外国语大学学報59, p.1—16
— (1982d) 「se 同音異義語説への疑問」 —HISPANICA 26, p.1—16
— (1982e) 「スペイン語—再帰形式をめぐって」 —講座日本語10, p.305—318
— (1983a) 「再帰構造論(1)：スペイン語再帰自動詞とse受動の場合」 —ロマンス語研究15/16, p.65—74
— (1983b) 「再帰文のバタンと分類基準—再帰構造論(3)」 —Estudios Hispánicos 9, p.1—16
— (1989a) 「スペイン語再帰構造論(4)」 —非対格タイプを中心に—第145回関西スペイン語学研究会
口頭発表. 1989. 6. 24. 於大阪外大
- Deguchi, Atsumi (1989b) "Sobre las estructuras reflexivas (4): en torno al 'anti-acusativo'" — Lingüística Hispánica 12, pp.1—16
- 福島教隆 (1983) 「イスパニア語における関心の与格を伴う自動詞文について(上)」 —神戸外大論叢34(2), pp.23—40
— (1984) 「イスパニア語における関心の与格を伴う自動詞文について(下)」 —神戸外大論叢35(1), pp.75—98
- Geniusiene, Emma (1987) *The Typology of Reflexives.* Mouton de Gruyter, Berlin-New York —Amsterdam.
- 桑名一博、他 (1990) 「西和中辞典」、小学館
- Schroten, Jan (1972) *Concerning the deep structures of Spanish reflexive sentences.* The Hague —Paris.
- Wonder, Johan P. (1990) "Las formas reflexivas y la voz pasiva" —Hispania 73, pp.401—411

(1990. 9. 5 受理)

付表

スペイン語再帰構文のタイプ

資料: C. Laforet "La llamada", "Un noviazgo"

頁／行	不定詞	分類	例文
1 16418	abrigarse	a	que se se abrigase al salir de la oficina
2 1729	abrirse	j	corredor en cuyas barandas ... y adonde se abri'an muchas puertas.
3 2827	abrirse	j	Unos minutos despue's la puerta se abrio'
4 2913	abrirse	j	Luego se abrio' una puerta
5 2915	abrirse	p	se abri'an flores en macetas.
6 2918	abrirse	p	y sus ojos se abrieron con cierto espanto.
7 16281	abrirse	p	algo que era como un capullo cerrado abrie'ndose.
8 6427	abrirse	y	Un ancho camino soleado se le abri'a en la vida.
9 13424	aburrirse	e	Desde que usted se aburrie, muchas(veces).
10 13619	aburrirse	e	Me aburro,
11 17504	aburrirse	e	De Arco se aburrio' de esperarla.
12 15004	acabarse	p	Aquella esperanza que se acababa en su casa
13 18583	acabarse	p	y se acabo'.
14 1204	acabarse	y	sintio' que las palabras se le acabaron
15 4322	acabarse	y	?Se te acabo' el dinero?
16 1216	acentuarse	p	el parecido que don Juan encontraba en su cara se acentuo' en vez de ...
17 912	acerarse	d	porque se acercaba al puerto
18 1526	acerarse	d	Segu'n don Juan se iba acercando,
19 1814	acerarse	d	Se le acerco' una de ellas.
20 2007	acerarse	d	Despacio se acerco' a su camarote.
21 3817	acerarse	d	Ahora se acercaba a e'l.
22 5114	acerarse	d	Al acercarse noto' que estaba llorando.
23 13303	acerarse	d	Bueno, ace'rate.
24 13314	acerarse	d	Alicia se habia' acercado muy circunspecta a la ventana.
25 17014	acerarse	d	Se acerco' a la ventana.
26 2018	acordarse	q	Al pronto ella se negaba a acordarse del caballero.
27 2131	acordarse	q	Ahora me acuerdo que
28 2705	acordarse	q	Ya no se acordaba bien de co'mo era don'a Eloi'sa:
29 3413	acordarse	q	Y que ella se acuerde al cabo de veinticinco antos y...
30 3719	acordarse	q	Se acordaba muy bien de que aquella precipitada boda...
31 3729	acordarse	q	,te acuerdes de que tienes una vieja amiga que no te abandonara'...
32 6030	acordarse	q	pero le pedí'a que se acordase de su hija,...
33 15817	acordarse	q	Aque'rdate de tu ultima enfermedad.
34 2013	acostarse	d	El hombre de la cicatriz no se habia' acostado.
35 5506	acostarse	d	le seri'a ma's facil y ma's baratoacostarse en la cama
36 6419	acostarse	d	Al acostarse aquella noche penso'....
37 16404	acostarse	d	deseando que la hue'speda se fuese a acostar
38 17125	acostarse	d	Dijo que se iba a acostar.
39 6106	acostumbrarse	d	y que no se acostumbraba a dormir solo....
40 16415	acostumbrarse	d	Don'a Ana se habia' ido acostumbrado a hablar con su hija
41 6487	adecentarse	d	Piensa en reunir dinero para tu vuelta, para adecentarte un poco
42 16108	afeitarse	a	Llevaba dos di'as sin afeitarse.
43 4607	agarrarse	q	don'a Eloi'sa se agarro' como a un clavo
44 14903	agriarse	p	Insesiblemente su humor se agrio'.
45 2004	agruparse	p	, agruparse el humilde brillo de la ciudad hasta parecer,
46 17230	aguantarse	q	Don'a Ana no se podia' aguantar.
47 15415	ahogarse	p	y le parecio' que se ahogaba.
48 18504	ahogarse	p	pasar de una vez sin ahogarse.
49 15585	alegrarse	e	Se alegrara'...
50 16717	alegrarse	e	Sera' de las personas que se alegren con tu boda.
51 18003	alegrarse	e	so'lo con ver ese cielo se alegra una...
52 18517	alegrarse	e	Me alegro mucho que hayas venido, Ana.
53 17414	alejarse	d	mientras la veia' alejarse...
54 2003	alejarse	p	Don Juan vio alejarse las luces del puerto.
55 2506	alejarse	p	quedaba el recuerdo de las luces de la ciudad al alejarse.
56 5601	animarse	e	Uamos, animesa.
57 15126	animarse	e	Se animaba con estas frases pronunciadas a media voz.
58 5110	apagarse	j	Parte de las luces se apagaron.
59 1721	apilarse	j	, bajo el que se apilaban tablones de madera de pino.
60 1801	apoderarse	d	Una su'bita timidez se apoderó' de e'l al darse cuenta de que
61 17922	apoderarse	d	el que se habia' apoderado de la madre y de la hija,
62 18728	apolillarse	p	no se ha apolillado dentro de ti un carin'o que yo no mereci'a,
63 13222	apoyarse	d	(e'l) .y se apoyase en un basto'n.
64 14011	apoyarse	d	En aquel momento tuvo que apoyarse contra los muros del casero'n.
65 14611	apresurarse	d	Se habia' apresurado a decir su nombre completo porque sonaba bien.
66 16002	apresurarse	d	y las veia' apresurarse,
67 18588	apresurarse	d	y se apresuro' a disparla.
68 5629	apretarse	p	se apretaba el esto'mago, como si
69 3926	arregliarse	a	Yo,...,no sabri'a co'mo arreglarla...
70 4119	arregliarse	a	Ueo que te arreglias bien...
71 4302	arregliarse	j	Se arreglaron las cosas para realizar este plan.
72 17827	arrellanarse	s	y arrellana'ndose e'l junto al cho'fer.
73 6316	arrepentirse	s	Usted no se arrepentira' nunca de haber ayudado a Mercedes.
74 3601	arrodiarse	d	y arrodiarse en el reclinatorio bajo de la Virgen de Montserrat.

再 帰 横 造 論 (5)

75	5027 arrodillarse	d	Casi inconscientemente se arrodillo' en la puerta.
76	5122 arrodillarse	d	Sin hacer ruido, se arrodillo' a su lado.
77	16815 arrodillarse	d	Se arrodillo' junto al sillón de la anciana...
78	2427 arrugarse	p	Se habí'a ido arrugando y encogiéndose con los an~os aquella buena señora
79	2315 asustarse	s	no era hombre capaz de asustarse demasiado,
80	14918 aterrarse	e	Alicia se habí'a aterrado de la maligna alegría que
81	4486 atragantarse	s	La abuelita se atragantó'.
82	1521 atreverse	s	No se atrevió'.
83	1788 atreverse	s	Ni siquiera don Juan se atrevió' nunca a preguntar por ella.
84	5511 atreverse	s	Y ni siquiera se atreví'a a decirlo.
85	6023 atreverse	s	La anciana no se atreví'a ni a nombrarla....
86	6327 atreverse	s	pero que no se atrevió' a contradecir...
87	14802 atreverse	s	Y Alicia que no se habí'a atrevido a confesarse a si' misma que
88	16508 atreverse	s	no se atrevió' a insistir.
89	16801 atreverse	s	y don~a Ana no se atrevió' a gritarle que cogiese el impermeable.
90	17216 atreverse	s	Don~a Ana no se atreví'a a respirar...
91	14916 aturdirse	e	ya que él buscaba aturdirse y
92	17803 avergonzarse	e	También se avergonzó' ligeramente de esta frase.
93	18507 avergonzarse	e	un hombre que se avergué~e de mí' delante de su familia
94	18509 avergonzarse	e	Si me avergonzase de ti
95	18514 avergonzarse	e	sin avergonzarme de nada.
96	16606 batirse	z	Don~a Ana, aterrada, se batí'o en retirada para siempre
97	16617 beberse	n	y amenaza bebe'rse delante de nosotras cualquier dí~a...
98	16416 besarse	r	besarse como cumpliendo un rito
99	13810 borrarse	p	Su prodigiosa actividad se habí'a ido borrando.
100	13606 burlarse	q	Creo que le estoy dando pie para que se burle.
101	13607 burlarse	q	:Pero si no me burlo!...
102	13616 caerse	m	,se me cae la casa encima,
103	13821 caírlase	q	:Ca'llate, estúpida!..
104	4619 calmarse	p	Todas sus angustias se calmaron en un momento,
105	1621 casarse	d	se casó' en seguida.
106	1622 casarse	d	Se casó' con un ayudante de Carlos.
107	1712 casarse	d	se habí'a casado y
108	2121 casarse	d	?Co'mo te casaste?
109	3328 casarse	d	?Es verdad que cuando se casó' te aconsejaste...
110	3803 casarse	d	Mercedes le contestó' con altanería a que se casaba enamorada....
111	13807 casarse	d	Ma's de una buena amiga me ha aconsejado que me case.
112	13824 casarse	d	Lu u'niko que me ha hecho pensar en casarme contigo y..
113	14126 casarse	d	La señ~orita encargada de ... acababa de casarse.
114	14306 casarse	d	con la que -segu'n supuso Alicia- se habí'a casado por intere's.
115	14511 casarse	d	De Arco no se habí'a casado por intere's de ninguna clase
116	14513 casarse	d	Aquel indiano se habí'a casado ya viejo.
117	14819 casarse	d	pero que en caso de casarse
118	15125 casarse	d	El que yo me case con De Arco es muy natural...
119	15130 casarse	d	Mama', me caso con un marqués..
120	15201 casarse	d	ella habí'a decidido casarse con aristó'crata o quedarse soltera.
121	15223 casarse	d	Se casa con un peligroso.
122	15303 casarse	d	y ya se habí'a casado otra vez, naturalmente
123	15509 casarse	d	Gracias a Dios se iba casar y
124	15717 casarse	d	algo así' como si me casase con una nin~a.
125	16025 casarse	d	pidiese la mano de Alicia y me casase luego con ella
126	16320 casarse	d	el hecho de que De Arco se casase con su nin~a
127	16628 casarse	d	y no quiero casarme con De Arco...
128	17010 casarse	d	pero casa'ndote tu' con un hombre tan fabulosamente rico
129	17111 casarse	d	Hoy te pide que te cases con él.
130	17308 casarse	d	que humilase a De Arco al casarse con ella...
131	17710 casarse	d	Si hay un ser en el mundo que se case conmigo
132	18586 casarse	d	?Crees que soy capaz de casarme con un hombre ...
133	18509 casarse	d	cuando se case voy a estar yo pegada a sus talones...
134	18510 casarse	d	no me casaría contigo.
135	18511 casarse	d	Y no te casara's conmigo haciendo una boda secreta,
136	18521 casarse	d	Se'lo me casare' como he son~ado casarme,
137	18521 casarse	d	como he son~ado casarme,
138	18522 casarse	d	como se han casado todas las mujeres de mi familia...
139	18803 casarse	d	para casarme, yo exijo una boda conforme a mi categorí'a
140	18814 casarse	d	para que una mujer decente pueda casarse con usted
141	18917 casarse	d	si te conviene casarte con este hombre
142	18918 casarse	d	Casarte sin ruido, sin bambolla de ninguna clase
143	19021 casarse	d	Dos meses ma's tarde De Arco se casó' con una de sus "viudas".
144	17531 casarse	r	si algu'n dí'a llegamos a casarnos?
145	15718 casarse	d	sin los peligros de casarme con una nin~a...
146	14920 castigarse	a	Para castigarse por ello,
147	6207 colocarse	d	Se habí'a colocado como sirvienta
148	2816 complicarse	p	la impresión de haberse complicado monstruosamente.
149	4229 comprarse	a	,con aquel traje que se habí'a comprado.
150	4310 comprarse	a	Habió a repartido su dinero con otros, despues de comprarse el traje.
151	5426 comprimirse	p	La mujer pareció' comprimirse un poco para que cupiesen allí'...
152	3218 comunicarse	j	Debieron de comunicarse muchas cosas en un segundo, con los ojos.
153	14226 confesarse	n	Alicia.....nunca se habí'a confesado que su enamoramiento por De Arco
154	14808 confesarse	n	no se habí'a atrevido a confesarse a si' misma que ...

155	909 confundirse	p	y allí', en una li'nea roja, se confundió' por unos minutos con el cielo
156	2218 conmoverse	e	Creí' que los an~os le habían quitado la facultad de conmoverse.
157	4311 conmoverse	e	Se conmovía al escuchar que aquella mujer gruesa y pintada....
158	5117 conmoverse	e	El cora~ón de Mercedes se conmovió' debajo de su brillante vestido.
159	13381 conocerse	r	Nos conocemos hace treinta an~os,
160	17616 conocerse	r	pero como nosotros hace treinta an~os que nos conocemos.
161	2609 conservarse	v	Don Juan me ha dicho que me conservo asombrosamente joven...
162	13027 conservarse	v	Alicia a los cincuenta an~os se conservaba ... como a los veinte.
163	3703 considerarse	v	Se consideraba con una inteligencia muy mediana.
164	14821 considerarse	v	ella no se consideraba inferior en nada a la señora de De Arcos
165	3317 consultarse	j	Se consultó' el periódico.
166	5302 contagiarse	y	Algo de su emoción se le contagió' a Mercedes.
167	3503 contarse	i	La abuelita sabía que se contaba con su próxima muerte,
168	3504 contarse	i	, porque en estos tiempos modernos se cuenta con todo.
169	3208 contenerse	a	Lolita no se pudo contener.
170	17731 contenerse	a	pero se contuvo prudentemente.
171	18015 contenerse	a	Luego se contuvo prudentemente.
172	14829 contraerse	y	Au'n se le contrajo' el cora~ón al recordar aquel dí'a.
173	2417 convencirse	e	Don Juan se convenció' de que.
174	16124 convencirse	e	Esperó' a convencérse de que la portera no andaba rondando...
175	13202 convertirse	p	toda aquella fri' suuntuosidad se había convertido en algo habitual y...
176	16412 convertirse	p	Alicia se había convertido en un ser agrio, iro'ñico
177	16710 convertirse	p	(aquel amor) al convertirse en un noviazgo.
178	18603 convertirse	y	aquello se le convertía en una bola estropajosa
179	13810 convertirse	p	A temporadas me convierto en un viejo medio inválido..
180	2712 coserse	a	secretamente se cosió' un traje nuevo...
181	13012 costearse	a	Un lujo que De Arco se podía costear perfectamente y que pagaba mal.
182	13312 creerse	n	diciendo que adoraba a estos animales y había acabado por cree'rseló.
183	16519 creerse	n	?Es que te has creido que tengo quince an~os au'n para
184	14925 creerse	v	si su madre se creí' rebajada por ser pobre
185	3616 cubrirse	a	Es verdad que se cubría la cara con las manos,
186	5019 cubrirse	a	y le dejó' su sombrero y su piel para cubrirse un poco los brazos,
187	2702 cuidarse	a	se cuidaría las manos,
188	6512 curarse	p	Luego había sufrido espantosamente y se había curado
189	4229 darse	a	, podí'a darse a conocer.
190	16415 darse	r	Darse buenos dí'as.
191	2714 darse	s	El marido se dio a todos los diablos y la golpeó'.
192	1407 darse	x	Se dio cuenta de que ... se había ido quedando muy solo...
193	1526 darse	x	se daba cuenta de que era aque'l un barrio pobre
194	1801 darse	x	al darse cuenta de que era la hora de la comida.
195	2113 darse	x	Ella se dio cuenta de la mirada del caballero.
196	2428 darse	x	sin que nadie se diera cuenta
197	3525 darse	x	Nadie se daba cuenta de estas bellezas de la yaya, pero...
198	3623 darse	x	Al pronto ni me di cuenta.
199	5625 darse	x	Mercedes, casi en trance, sin darse cuenta de nada, seguía...
200	6104 darse	x	y que se daba cuenta de que ...
201	6210 darse	x	Al pronto, la abuelita no se dio cuenta de que ...
202	6305 darse	x	Me he dado cuenta de lo que es la misería de verdad.
203	6501 darse	x	para darse cuenta de las cosas
204	13425 darse	x	?Te das cuenta de que esto resulta ya una especie de matrimonio?
205	14013 darse	x	porque so'lo entonces empezaba a darse cuenta del alcance de aquella...
206	14502 darse	x	sin darse cuenta que iba resultando un poquito anacro'nica
207	14629 darse	x	Alicia no se dio cuenta casi:
208	14718 darse	x	cuando Alicia se vino a dar cuenta de que..
209	14904 darse	x	sin que ella se diera cuenta de este feno'meno.
210	15101 darse	x	Se dio cuenta de que estaba allí' parada
211	15205 darse	x	Se dio prisa a abrir la puerta.
212	16012 darse	x	ella, terriblemente aturdida, se diese cuenta de lo que pasaba,
213	16504 darse	x	?no sera' secillamente que no se da cuenta?
214	17128 darse	x	don'a Ana se dio cuenta de que Alicia lloraba.
215	17420 darse	x	Se dio cuenta de que Alicia debía estar ya en el despacho...
216	18131 darse	x	se dio' cuenta del ligero sobresalto que experimentaba.
217	18202 darse	x	por si se habí'an dado cuenta de sus cabezadas...
218	18819 darse	x	Ahora De Arco se dio cuenta de que...
219	18914 darse	x	Usted no se da cuenta de que me ha insultado
220	1119 darse	x	al darse cuenta de que no recordaba exactamente los que cumplí'a.
221	14429 deberse	j	Quiza' se debía esto a que jama's había tenido un pretendiente real.
222	13109 decidirse	q	Jama's se había decidido a trajecitos oscuros con pun~os y cuellos.
223	18518 decidirse	q	despué's de haberme decidido.
224	14009 decirse	a	So'lo yo sere' marquesa-se dijo Alicia.
225	16029 decirse	a	De Arco pugnaba por despertarse, por decirse:...
226	15514 decirse	j	A Daniela se le dirá' dentro de unos dí'as,
227	2102 decirse	j	no podí'a decirse que fuera una mujer extraordinariamente envejecida.
228	4226 decirse	j	Casi podí'a decirse que Mercedes no atraí'a.
229	17813 decirse	j	En realidad se puede decirse que...
230	1631 decirse	v	un tipo poco escrupuloso que se decí'a empresario teatral
231	15826 dedicarse	a	se dedicó' a encender un pequeño puro.
232	4521 dejarse	v	Una voz muy clara e insistente se dejaba oír en el fondo del armario
233	17627 dejarse	v	No hay ma's que dejarse llevar por un impulso sano y generoso...
234	17908 dejarse	v	La voz de Alicia se dejó' oír.

再 帰 構 造 論 (5)

235	18822 dejarse	v	Si aquella endiablada comida no se estuviese dejando sentir demasiado
236	2938 derrumbarse	d	Mercedes se habí'a derrumbado en una silla del comedor.
237	13214 derrumbarse	d	Desde hací'a dos o tres an~os se derrumbaba como una torre.
238	16608 desahogarse	q	y cometio' la cobardi'a de desahogarse ma's tarde con Daniela.
239	5805 desanimarse	e	.y ahora le decí'a que no débi' desanimarse...
240	4005 descansarse	i	.en los que por poco dinero se podí'a descansar.
241	4514 descolgarse	z	,descolgarse a los setenta an~os con una escapada a un local nocturno.
242	17824 desenvolverse	q	mientras se desenvolví'a con su amabilidad de cestambre
243	2907 deshacerse	j	Don'a Elio'sa temio' deshacerse en aquel impetuoso abrazo.
244	2130 deshacerse	q	querí'a deshacerse de mi'
245	2721 despedirse	d	y se fue sin despedirse.
246	14615 despedirse	d	le besase la mano al despedirse
247	16529 despedirse	d	me despide' de De Arco sin ma's explicaciones;
248	18501 despedirse	d	Me despido con esto de la buena vida de ce'libo.
249	5727 desperarse	e	No debes desperarte.
250	1724 desperezarse	s	y se desperezaba un gatazo rubio tení'a un canto especial
251	16028 despertarse	s	De Arco pugnaba por despertarse
252	16203 despertarse	p	y se desperto' espantado.
253	17119 despertarse	p	para cuando te despiertes...
254	17401 despertarse	p	De Arco se desperto' optimista.
255	4327 despertarse	y	A Mercedes ...se le habí'a despertado una sensibilidad nueva.
256	16818 desprenderse	q	A ti no te importari'a, ?verdad? desprenderte de eso...
257	16823 desprenderse	q	?Desprenderte de que', hijita?
258	19601 desvanecerse	p	La pobre sen~ora vio desvanecerse su ocasio'n de pacificar a los novios.
259	18904 desvanecerse	p	don'a Ana veí'a desvanecerse su vejez tranquila.
260	15215 desvestirse	d	Uyo a desvestirme.
261	1719 detenerse	d	Don Juan se detuvo delante de una puerta cochera.
262	5709 detenerse	d	Mercedes se detuvo.
263	15309 detenerse	d	y se detuvo en la puerta contempla'ndola
264	16005 detenerse	d	embotellado en el tra'fico tuvo que detenerse.
265	17808 detenerse	d	el automo'vil se detuvo delante de la casa de Alicia
266	18129 detenerse	d	El automo'vil se detuvo delante de una casa grande y blanca
267	17226 dignarse	s	tengo bastante con que se digne pedirme un matrimonio...
268	913 dirigirse	d	se dirigi'a a un puerto de Ame'rica
269	919 dirigirse	d	, como aquel hacia el que se dirigi'an
270	17707 dirigirse	d	encontraro' ma's natural que yo me dirigiese a cualquiera de...
271	17720 dirigirse	d	cuando se dirigi'a a casa de Alicia, chispeaban
272	5715 dirigirse	j	Ya la atencio'n del pu'blico se dirigi'a a un nuevo artista.
273	19880 dirigirse	q	aque'l ridi'culo usted de siempre al dirigirse a e'l.
274	5428 disculparse	s	En seguida se puso a charlar y a disculparse de la pobreza de su...
275	4806 disgustarse	e	aunque se disgusten mis nietos
276	910 distinguirse	j	en su superficie podí'an distinguirse algunos barcos pesqueros.
277	18718 distraerse	e	Estoy viejo y me distraigo, hija...
278	14302 distribuirse	j	y que se distribui'an por las numerosas sucursales de provincias.
279	6420 dormirse	n	que no podí'a dormirse
280	13528 dulcificarse	e	La ortiga se dulcific'o' un poco.
281	4702 echarse	a	nos hemos echado una carga encima al traerla a vivir a casa.
282	2019 echarse	z	Luego se echo' a llorar al saber que
283	5713 echarse	z	,se echo' a llorar desesperada.
284	14813 echarse	z	se echo' a llorar sin consuelo.
285	18830 echarse	z	repentinamente se echo' a llorar.
286	6314 educarse	j	Mire, yo, usted lo sabe, me he educado en muy buenos pan~ales...
287	1581 empen~arse	q	Si usted se empen~a
288	2118 empen~arse	q	cuando se empen~aron en torcer mi vocacio'n.
289	17717 empen~arse	q	se empen~aba en verle por asuntos de negocios.
290	13101 empolverse	s	Alicia se empolvaba con cuidado y sin coqueterí'a.
291	14727 enamorarse	e	No te me vayas a enamorar del sen~or De Arco.
292	4925 encargarse	x	,la amiga se encargo' de su empen~o.
293	16624 encarin~arse	e	y empezo' a encarin~arse mucho con aquella muchacha ordinaria
294	2427 encogerse	p	Se habí'a ido arrugando y encogiendo con los an~os aquella buena sen~ora
295	2228 encogerse	q	Luego se encogio' de hombros.
296	2724 encontrarse	j	,no se encontraba nada para comer en las estaciones.
297	4827 encontrarse	q	Si algu'n di'a vuelvo a encontrarme con mi marido y con mis hijos.
298	4427 encontrarse	r	Y aquella tarde, anochecido ya, se encontraron en la iglesia.
299	3505 encontrarse	v	,y hasta sentí'a vagos remordimientos por encontrarse tan fuerte.
300	3508 encontrarse	v	,el di'a de man~ana pudiera llegar a encontrarse en la obligacio'n...
301	3609 encontrarse	v	Pronto nos encontraremos en la obligacio'n de encerraria
302	6024 encontrarse	v	del disgusto se encuentra con una pulmoni'a
303	6420 encontrarse	v	que se encontraba tan solo en la cama
304	13230 encontrarse	v	?Co'mo se encuentra hoy?
305	15814 encontrarse	v	se miro' al espejocontra'ndose muy bonita con su cara adelgazada,
306	1125 enderezarse	d	Se enderezo' lentamente,
307	5506 enfadarse	o	y si Luis se enfadaba
308	6220 enfadarse	e	,se enfado' con ella.
309	17610 enfadarse	e	te has enfadado
310	2501 enfurecerse	o	Y la pobre perturbada Mercedes, que se enfureci'a o lloraba...
311	16002 engancharse	d	engancharse con sus paraguas,
312	17817 enrojarse	p	y se enrojaba una sen~ora.
313	4818 ensayarse	q	, ensaya'ndose a recitar.
314	1711 enterarse	j	se llego' a enterar de que se habí'a casado

315	4009 enterarse	j	¿Co'mo te has enterado de tantas cosas en tan poco tiempo? al enterarse de su nuevo empleo.
316	14209 enterarse	j	alegría que la habí'a invadido al enterarse.
317	14919 enterarse	j	En cuanto Alicia se entere de mi régimen...
318	18502 enterarse	j	No quiero que se enteren ni mis sobrinos.
319	18520 enterarse	j	habí'a sido muy dada a enternecerse
320	18127 enternecerse	e	De Arco se enternecio'.
321	18425 enternecerse	e	se entreabrió' ligeramente un ventanuco junto a la puerta.
322	1830 entrebárrse	j	Aburrido se entretenía en mirar a las gentes de la acera,
323	16801 entretenerse	e	De Arco se entretevo con los perros y
324	17507 entretenerse	e	Y se habí'a equivocado de li'nea.
325	2818 equivocarse	q	No te habrá' equivocado ?
326	2908 equivocarse	q	,se equivocaba...
327	5704 equivocarse	q	si no me equivoco...
328	17611 equivocarse	q	Mercedes se irguío'.
329	3224 erguirse	d	Alicia se irguío'.
330	13627 erguirse	d	se escapo' de casa.
331	1629 escaparse	m	Cuando tengo dinero y hay teatro me escapo al teatro...
332	2210 escaparse	m	, esca'pate, ven a mis brazos.
333	3102 escaparse	m	Pero no me fi'o mucho de que no se escape con un violinista...
334	3725 escaparse	m	A pesar del siltido que se escapaba a veces entre sus dientes.
335	2220 escaparse	p	A veces, sin embargo, se le escapaba un suspiro, y ...
336	6819 escaparse	p	Esconde'ndose de Lolita dio a Mercedes un grueso reloj de tapa.
337	4127 esconderte	d	esta pequeñ~ historia no se hubiera escrito
338	1023 escribirse	j	Podría' haberse escrito otra
339	1023 escribirse	j	y que detra's de su nombre pueden escribirse varios títulos.
340	13816 escribirse	j	Cuando se está' acostumbrada a otra cosa...
341	4910 estarse	i	No podí'a estarse quieto.
342	2620 estarse	m	y se estremeció' al ver su mirada brillante,
343	18120 estremecerse	e	nadie se explicase por que'.
344	3212 explicarse	x	Le digo eso, señor, para que no se extrañ~e.
345	1508 extran~arse	q	Pero no me fi'o mucho de que no se escape con un violinista...
346	3725 fijarse	q	A De Arco , Alicia no podí'a figura'rselo.
347	14206 figurarse	n	Cuando venga me fijare' bien", penso'.
348	1213 fijarse	q	, en quien nunca se habí'a fijado.
349	2424 fijarse	q	Nadie se fijaba en aquella mujer
350	2725 fijarse	q	?Te has fijado co'mo le daba alas a esa chiflada?...
351	3610 fijarse	q	No se' si te has fijado, pero es espantosamente sucia.
352	4207 fijarse	q	Nadie se fijo' en ella.
353	5026 fijarse	q	Luego se fijo' en la alianza
354	5317 fijarse	q	Ella se fijo' en que De Arco ya no estaba enlutado.
355	14924 fijarse	q	?Te has fijado?
356	19012 fijarse	q	?Te has fijado?...
357	19012 fijarse	v	Luisito, el niño mayor del joven matrimonio, fingie'ndose durmiendo.
358	3425 fingirse	v	El niño no se fingio' dormido.
359	3818 fingirse	v	, que unas veces se ganaba la confianza
360	1230 ganarse	n	Contigo no se puede hablar.
361	15825 hablarse	i	si te conviene ... hacerte conmigo una vida sencilla.
362	18919 hacerse	a	y aquella despedida que se hací'a de la patria
363	918 hacerse	j	esos tratamientos que se les hacen a los locos.
364	6513 hacerse	j	hasta que su recuerdo se hizo vivo y claro
365	1321 hacerse	p	Las risas se hicieron fuertes, descaradas.
366	5627 hacerse	p	(la luz)...en verano se hací'a submarina, fresca
367	12919 hacerse	p	,debe pensar do'nde va a hospedarse.
368	3223 hospedarse	d	Se imaginó', por primera vez, que quizá' si ...
369	6230 imaginarse	n	Se imaginan que esta's muy bien y...
370	6331 imaginarse	n	No me imaginaba que fueses tu'.
371	15209 imaginarse	n	Me lo imagino...
372	15801 imaginarse	n	estaba muy distinta a como se habí'a imaginado.
373	17823 imaginarse	n	Tampoco ella se habí'a imaginado así' sus reacciones como novia de
374	17304 imaginarse	n	De Arco se imaginaba que llegarí'a aquél dí'a antes que nunca,
375	17423 imaginarse	n	aquella maquinaria extranjera que se importaba en la casa...
376	14301 importarse	j	Don'a Elio'ssa se impresionó' con aquello del violinista.
377	3727 impresionarse	e	La amiga se impresionó'
378	5018 impresionarse	e	Ahora el caballero inmenso se inclinaba con cierto esfuerzo
379	19006 inclinarse	a	y hasta indignarse.
380	4512 indignarse	e	Entonces la abuelita se indignó'.
381	5514 indignarse	e	Estaba tan poco acostumbrada a indignarse que...
382	5515 indignarse	e	Se interrumpió' con su'bita timidez al advertir a don Juan.
383	2301 interrumpirse	q	Se interrumpió'.
384	17105 interrumpirse	q	Cuando don Juna se levantaba para irse
385	1513 irse	m	se habí'a ido a vivir lejos.
386	1712 irse	m	?Que' dirí'as si me fuera a ver a mi familia de Barcelona?
387	2624 irse	m	Uete adonde quieras;
388	2626 irse	m	Me ire'.
389	2628 irse	m	Me ire' - penso' Mercedes.
390	2628 irse	m	Me ire'.
391	2631 irse	m	Me ire'.
392	2631 irse	m	?Que te vas con tu familia?...
393	2716 irse	m	!Uete con tu familia de una vez!...
394	2716 irse	m	

再帰構造論(5)

395	2720	irse	m	, y se fue sin despedirse.
396	4202	irse	m	Y cuando Mercedes se fue, las consabidas desconfianzas de la nieta.
397	4403	irse	m	, aprovechando un momento en que Lolita se iba a sus quehaceres.
398	5815	irse	m	Mercedes se fue a buscar a la abuelita.
399	15389	irse	m	ojo' que la buena señora se iba hacia su cuarto de éstar.
400	16728	irse	m	Me voy al cine.
401	17604	irse	m	nos vamos a almorzar por cualquier sitio agradable de los alrededores?
402	1126	levantarse	d	dispuesto a levantarse.
403	1513	levantarse	d	Cuando don Juan se levantaba
404	2603	levantarse	d	, para que el hombre se levantase.
405	3816	levantarse	d	al levantarse del reclinatorio.
406	5129	levantarse	d	y se levantó'.
407	13725	levantarse	d	, impidió' que Alicia se levantase.
408	16208	levantarse	d	E'l se levantó' con trabajo.
409	16303	levantarse	d	y Daniela, como siempre, se levantó' disparada.
410	17814	levantarse	d	Alicia se habí'a levantado del suelo.
411	13409	limitarse	q	... me límite' a cumplir mi deber.
412	2925	limpiarse	a	Lolita se limpia' la mano en una servilleta
413	14929	llamarse	a	Así' se habí'a llamado a sí' misma despué's de esa conversació'n...
414	1025	llamarse	j	El caballero se llamaba don Juan Roses,
415	1319	llamarse	j	Ella se llama Mercedes.
416	14602	llamarse	j	?Co'mo se llama?
417	18128	llenarse	y	a que se le llenasen los ojos de la grimas por cualquier cosa.
418	2309	llevarse	j	, y que seguín don Juan comprendió' deberí'an llevarse al padre.
419	5518	llevarse	j	la miseria puede llevarse de muchas formas.
420	19023	llevarse	j	Todo se llevó' a cabo de manera muy sencilla y discreta.
421	3322	manejarse	a	Mercedes ya sabí'a manejarse sola.
422	15587	marcarse	j	porque en la cara de Alicia se marcaba un desprecio...
423	2483	marcarse	m	Cuando se iba a marchar,
424	6027	marcarse	m	que tantas veces nos amenazó' con marcharse y ...
425	16213	marcarse	m	e'l salí'a de la habitació'n para marcharse hacia la cama
426	4938	merecerse	n	Don'a Eloí'sa no se merece esto;
427	4930	merecerse	n	no, no se lo merece...
428	5526	meterse	d	Con usted no me meto, señora,
429	15212	meterse	d	y se metió' en la alcoba, cerrando la puerta.
430	16123	meterse	d	No se metió' en e'l en seguida.
431	17212	meterse	p	(la idea) , empezo' a meterse en el cerebro
432	18824	meterse	p	no se hubiese metido así' en sus piernas,
433	15926	meterse	y	A De Arco aquella lejana lluvia se le metió' en el suen~o,
434	18512	mezclarse	a	Nada de mezclarme en la vida de un matrimonio.
435	13517	mirarse	a	: y se miro' la punta del zapato.
436	15814	mirarse	a	Antes de salir de su casa se miro' al espejo...
437	3218	mirarse	r	Ahora el matrimonio se miraba.
438	17223	molestarse	d	ni siquiera se ha molestado en llamarme,
439	2126	morirse	n	mi madre y yo nos morí'amos de hambre,
440	4109	morirse	n	, se le han muerto cinco hijos...
441	4317	morirse	n	Que todas aquellas criaturas que se le habí'an muerto,
442	14418	morirse	n	mi familia preferirí'a morirse de hambre a que yo tuviese
443	15492	morirse	n	Ahora ya puedo morirme.
444	18506	morirse	n	yo me hubiera muerto hace tiempo.
445	5914	mostrarse	v	se mostro' muy extrañ~ado.
446	6005	mostrarse	v	Yo les ruego que no se muestren tan inquietos y ...
447	14517	multiplicarse	p	y e'stos se iban multiplicando casi sin esfuerzo.
448	2018	negarse	q	Al pronto ella se negaba a acordarse del caballero.
449	4602	negarse	q	las razones que ella le diese para negarse.
450	5919	negarse	q	, negándose, ademá's, a contar do'nde habí'a estado.
451	14005	negarse	q	La anciana se habí'a negado siempre a vende'rse.
452	18726	negarse	q	me niego a hacer el ridí'culo.
453	18928	negarse	q	Tengo el orgullo de negarme a ser su mujer...
454	18829	negarse	q	Me niego a ser su mujer.
455	13013	ocuparse	x	, Alicia se ocupaba tambié'n de la biblioteca,
456	17714	ocuparse	x	se ocupó' de que encargasen una mesa para dos en el jardí'n
457	17715	ocuparse	x	y se ocupó' de mandar que...
458	17723	ocuparse	x	De esto se habí'a ocupado poco De Arco
459	18908	ocuparse	x	Costeaba bien poco, la verdad, ocuparse de la vejez de don'a Ana...
460	3216	ocurrirse	z	, a don Juan se le ocurriera...
461	6583	ocurrirse	z	Y ma's tarde se le ocurrió' la idea
462	13625	ocurrirse	z	que hasta se me habí'a ocurrido invitarte a cenar en algu'n sitio.
463	13730	ocurrirse	z	Creo que es la mejor idea que se me ha ocurrido en la vida...
464	13884	ocurrirse	z	Esta' usted aburrido en esta enfermedad y se le ocurrén locuras.
465	16023	ocurrirse	z	Se le ocurrió' una idea estú'pida.
466	16112	ocurrirse	z	A De Arco se le habí'a ocurrido,
467	16128	ocurrirse	z	:!que' suerte que se le haya ocurrido venir!
468	3318	ofrecerse	j	cuyo alquier mo'dico se ofrecí'a,
469	4813	ofrecerse	q	, que se ofreció' a prestarle varias pulseras
470	1114	oí'rse	j	Se oí'an las campanas de una iglesia.
471	1905	oí'rse	j	Entonces se oyo' una voz llena,
472	5631	oí'rse	j	Se oyeron voces.
473	5707	oí'rse	j	Pero entre las risas se oí'an abucheos, silbidos.
474	14018	oí'rse	j	En sordina se oí'a el rumor de la gran ciudad.

475	16729 oírse	j	se oyo' un repiqueteo en los cristales de la ventana;
476	1809 oírse	v	Don Juan no estaba acostumbrado a oírse llamar así'.
477	16731 oírse	j	Se oyo' el portazo de Daniela al salir.
478	1713 olvidarse	q	don Juan se habí'a ido olvidando de Mercedes
479	2610 olvidarse	q	Casi a punto de hacerme el amor olvida'ndose de que puedo ser su hija...
480	15023 olvidarse	q	Me olvide' completamente...
481	17001 olvidarse	q	Se olvidaba de que...
482	17507 olvidarse	q	se olvido' de Alicia hasta cerca de mediodi'a.
483	1831 olvidarse	y	es posible que al capita'n..., se le hubieran olvidado.
484	2124 olvidarse	y	Yo soy tan vieja, que todo se me olvida.
485	2407 oponerse	q	Don'a Elio'sa, la que se opuso a mi boda?
486	2814 orientarse	a	y era muy difi'cil orientarse
487	1507 oscurecerse	p	El cen'o del anciano se oscurecio'.
488	16502 pagarse	j	ni pagarme lo que no se puede pagar.
489	1217 parecerse	z	Aquel muchacho se pareci'a mucho a otro
490	1425 parecerse	z	Carlos Marti', al que tu' te pareces tanto
491	14501 parecerse	z	procuraba parecerse cada vez ma's a estas hadas,
492	19527 parecerse	z	en nada se pareci'a a la fisonomí'a tranquila
493	18712 pasarse	a	De Arco se paso' la mano por la frente.
494	13311 pasarse	n	Se habí'a pasado la vida diciendo que ...
495	4411 pasarse	y	para que se le pasara aquel ahogo.
496	15510 pasarse	y	y se le pasari'an estas rarezas de cara'cter
497	6223 pelearse	r	Nos peleamos y ...
498	6329 pensarse	n	Pie'nstate lo bien...
499	2507 perderse	p	Al fin se perdieron en su suen'o.
500	2702 perfumarse	a	Se ten~iri' el pelo, se cuidari'a las manos, se perfumari'a...
501	4718 permitirse	a	Tengo demasiado quehacer en casa para permitirme beateri'as,
502	3904 persignarse	s	Don'a Elio'sa tuvo ganas de persignarse,
503	5711 pisarse	a	Se piso' el traje.
504	3915 plantarse	d	La criada se planto'.
505	5709 plantarse	d	Se planto' en jarras y...
506	1827 poblar	j	Poco a poco el corredor se habí'a ido poblando.
507	3331 ponerse	a	La abuelita se puso las gafas, porque iba a coser.
508	4713 ponerse	a	Como nunca te pones sombrero para ir a la iglesia.
509	5817 ponerse	a	No se' que' ponerme.
510	5824 ponerse	a	y que se habí'a puesto para el viaje.
511	5614 ponerse	a	Horribles aquellos abalorios que se habí'a puesto...
512	13102 ponerse	a	Siempre se habí'a puesto muchos polvos,
513	15308 ponerse	a	Mientras se poní'a traje de casa.
514	2215 ponerse	d	Entonces Mercedes se puso de pie.
515	2812 ponerse	d	Se puso en camino un rato ma's tarde .
516	5418 ponerse	d	Se ha puesto la criada...
517	16307 ponerse	d	Alicia se puso de pie.
518	16885 ponerse	d	Alicia se habí'a puesto de pie y
519	17614 ponerse	d	?Tendrá's bastante con una hora para ponerte guapa?
520	18728 ponerse	d	Me gustari'a que pudieras ponerte en mi caso...
521	18920 ponerse	d	Don'a Ana se puso en pie.
522	18928 ponerse	d	Alicia se puso en pie.
523	18921 ponerse	d	De Arco se puso en pie tambie'n.
524	5718 ponerse	e	No debiste de ponerte nerviosa.
525	18419 ponerse	j	Inmediatamente se pondrá' otro cubierto, sen~or.
526	16227 ponerse	p	Las cosas se pusieron muy feas
527	17022 ponerse	p	Se habí'a puesto muy enferma con el susto
528	5629 ponerse	p	, se apretaba el estó'mago, como si se pusiese enfermo de tanto rei'r.
529	14917 ponerse	p	y cuando se puso tan enferma
530	16516 ponerse	p	Alicia se habí'a puesto hecha una furia.
531	5427 ponerse	z	En seguida se puso a charlar
532	6313 ponerse	z	Eso fue lo que me dio la idea de ponerte a servir...
533	6320 ponerse	z	Como la anciana se pusiese a llorar, ...
534	15821 portarse	z	Si', te portaste como un cochino.
535	17509 portarse	z	estaba porta'ndose como un novio poco carin'oso
536	13515 preguntarse	a	, y a veces hasta me pregunto si alguien las tuvo jam'a's.
537	4309 preocuparse	e	Por primera vez se preocupaba de los dema's.
538	4724 preocuparse	e	No te preocupes, yaya...
539	5284 preocuparse	e	No se preocupe.
540	17012 preocuparse	e	?para que vamos a preocuparnos por los gastos de la boda?
541	17807 preocuparse	e	y se preocupaba bien poco de e'!...
542	18986 preocuparse	e	decirle que no se preocupase...
543	15128 prepararse	a	Necesitaba prepararse de algu'n modo para dar aquella noticia
544	17811 presentarse	d	Alicia se presento' acompañada de una sen~ora enorme
545	16508 presentarse	y	cuando a Alicia se le presento' la ocasio'n de un nuevo trabajo
546	3310 presentarse	d	Y laquella buena de Mercedes, presentarse asi'!...
547	3526 presentirse	j	, pero si' se presenti'a que "iba a dar guerra" mucho tiempo au'n.
548	4811 probarse	a	Se habí'a probado su traje de noche en el cuarto de su amiga
549	3815 prolongarse	p	La oracio'n se prolongaba.
550	5401 proponerse	n	Concretamente no se habí'a propuesto nada.
551	15412 proponerse	n	contra todo lo que se habí'a propuesto, hablaba febril, nerviosi'sima
552	1407 quedarse	m	en los u'ltimos an'os se habí'a ido quedando muy solo
553	2729 quedarse	m	casi se quedo' helada una noche.
554	3321 quedarse	m	Tu' te quedas en casa, yaya...

再帰構造論 (5)

555	6016 quedarse	a	tranquilizarse y quedarse al mismo tiempo con su curiosidad insatisfecha
556	6223 quedarse	a	y se quedó con todo lo mío...
557	13710 quedarse	a	Que'dese usted diez minutos más, señorita..
558	13722 quedarse	a	Siento no poder quedarme ni un minuto más.
559	14425 quedarse	a	Alicia, sin saber por qué, se quedó triste.
560	15202 quedarse	a	ella habría decidido casarse con aristocrata o quedarse soltera.
561	15302 quedarse	a	cuando se quedó viudo.
562	15621 quedarse	a	Luego, cuando se quedaba solo junto a la chimenea,
563	15921 quedarse	a	y al fin se quedó dormido, junto al fuego.
564	16601 quedarse	a	no me quedare' con el otra vez...
565	17929 quedarse	a	Estoy pensando que debí quedarme en casa...
566	18524 quedarse	a	se quedó asombrado.
567	2714 quemarse	a	...se tinó los cabellos y se los quemó.
568	15025 quemarse	e	Se quemó en un sufrimiento vivo y punzante
569	14926 quitarse	a	Ya me voy a quitar el negro.
570	15329 quitarse	a	Luego se quitó las gafas y seco' dos grandes lágrimas.
571	14905 reconcentrarse	q	Me reconcentrare'.
572	6321 recuperarse	j	El reloj de la abuelita, que ya no se recuperaría.
573	15603 reducirse	p	companía se habría ido reduciendo a unas cuantas mujeres
574	13324 referirse	q	No me refería a tu edad...
575	13409 referirse	q	En las ocasiones a que usted se refiere...
576	16926 referirse	q	me refiero a don José Uleuz.
577	18024 referirse	q	como no se refiriase Alicia a las visitas familiares
578	2512 reflejarse	p	Las luces de la pequeña ciudad seguían brillando...., refleja'ndose
579	15929 reflejarse	p	Todo refleja'ndose en los suenos hu'medos.
580	13803 rehacerse	e	Al fin se rehizo.
581	5226 reírse	q	Si se ha reído de ti,
582	6322 reírse	q	Pero dona Eloisa, entre lágrimas, se reía como una bendita.
583	16619 reírse	q	?Por qué te ri'es, hija?
584	17403 reírse	q	empezó a reírse silenciosamente.
585	13620 rejuvenecerse	p	Sólo contigo me rejuvenezco un poco;
586	1122 remontarse	z	Se remonto' a la fecha de su nacimiento e hizo un breve cálculo.
587	17315 renírse	i	Si no se ríne, un noviazgo es aburrido...
588	17701 repetirse	a	Una rosa entre espinos, se repitió'.
589	6007 repetirse	j	El caso no se repetira'...
590	16121 repetirse	y	anños más tarde a De Arco se le repitió en suenos
591	13224 resentirse	s	Acababa de pasar un terrible ataque reumático, y aún se resentía.
592	16404 retirarse	d	se fuese a acostar o retirarse ella misma con Alicia a la alcoba
593	17718 retirarse	d	Me he retirado para siempre de tales complicaciones.
594	3913 romperse	p	Aquel pan de entonces, que se rompió al caer
595	14902 rozarse	j	apenas se rozaba el nombre de De Arcos.
596	4508 ruborizarse	e	Cuando su nieta la miraba de improviso, se ruborizaba.
597	13801 ruborizarse	e	Nota' que se ruborizaba.
598	14323 ruborizarse	e	Alicia se habría ruborizado hasta las orejas.
599	13629 saberse	j	?Se puede saber por qué?
600	14519 saberse	j	no podía saber si era cierto que ...
601	5523 sacrificarse	a	tantos hombres que se sacrifican...
602	3816 secarse	a	la abuelita se secaba unas lágrimas de sus ojos ...
603	15407 secarse	a	seca'ndose las lágrimas y moquiteando
604	1106 sentarse	d	habiéndose asentado donde podía uno sentarse de cara al mar.
605	1107 sentarse	d	Don Juan se sentó en un sillón de mimbre,
606	2817 sentarse	d	Se sentó en un tranvía con aire de reina.
607	13421 sentarse	d	Vamos a sentarnos.
608	13429 sentarse	d	Suspiró mientras se sentaba en la butaca.
609	13727 sentarse	d	Siéntate, insensata...
610	15403 sentarse	d	Alicia se fue a sentar también a la mesa camilla,
611	16312 sentarse	d	le hicieron comprender que debía sentarse de nuevo.
612	18709 sentarse	d	como si María Elena se hubiese sentado allí'.
613	1813 sentirse	v	Don Juan se sentía idénticamente molesto.
614	2802 sentirse	v	Se sentía entumecida, tímida.
615	2810 sentirse	v	Se sentía libre, inocente.
616	4603 sentirse	v	Se sentía abandonada como un perro.
617	5305 sentirse	v	Usted no sabe lo que sentirse como enterrada viva años y años.
618	5312 sentirse	v	Mercedes se sintió fría.
619	5530 sentirse	v	Se sentía como en una pesadilla.
620	5602 sentirse	v	y se sintió, en efecto, más animada.
621	13127 sentirse	v	(Alicia), se sentía invariablemente tímida y sofocada....
622	13616 sentirse	v	Me siento viejo, Alicia.
623	13619 sentirse	v	Me siento un anciano achacoso ...
624	13620 sentirse	v	sin tener edad para sentirme así'.
625	13624 sentirse	v	Hoy me sentía tan bien, que...
626	13716 sentirse	v	Alicia se sintió herida.
627	13829 sentirse	v	Se sentía mal.
628	13909 sentirse	v	Alicia no sabía por qué se sentía tan absurda.
629	14426 sentirse	v	Alicia se sintió enamorada de De Arco antes de verle.
630	14809 sentirse	v	Se sintió, de pronto, desnuda...
631	15831 sentirse	v	se habría sentido muy solo y muy triste.
632	16122 sentirse	v	siempre que se sentía enfermo
633	16318 sentirse	v	Don Ana se sentía intensamente feliz.
634	16319 sentirse	v	en toda su vida no se había sentido tan feliz.

635	16624 sentirse	v	Don'a Ana se sintio' consolada y
636	16813 sentirse	v	Se sintio' enternecida, reblandecida.
637	17007 sentirse	v	Don'a Ana empezo' a sentirse mejor.
638	17114 sentirse	v	esta noche, se siente tan seguro que ni me ha telefoneado...
639	17482 sentirse	v	Haci'a años que no se senti'a tan bien.
640	17405 sentirse	v	Hoy me siento como un novio.
641	17713 sentirse	v	empezo' a sentirse a'gil y descansado:
642	19210 sentirse	v	De Arco se sintio' despejado.
643	18309 sentirse	v	aque'l dia se sintio' infinitamente molesto.
644	18719 sentirse	v	me senti'a rejuvenecido..
645	18805 sentirse	v	Se senti'a mal.
646	18931 sentirse	v	Olvidada de todo se senti'a feliz.
647	19019 sentirse	v	pero se senti'a verdaderamente mal.
648	3229 separarse	d	te aconsejaste que se separase del marido?...
649	3404 serenarse	e	Al cabo de un rato se fue serenando.
650	4115 serenarse	e	Mercedes se sereno' de pronto.
651	4003 sindicarse	d	y habi'a hecho adem'a una solicitud para sindicarse como profesional
652	14925 sofocarse	p	Se sofoco' mucho.
653	15427 sonarse	a	son'a'ndose ruidosamente frente a ella,
654	19816 sonarse	a	son'a'ndose con un gran pan'uelo de hombre.
655	18006 sorprenderse	e	De Arco se sorprendio' pensando en lo poco que conocia los gustos
656	3207 suicidarse	s	Estaba a punto de suicidarme cuando llego'.
657	16803 sujetarse	a	sujetarse las ropas, que levantaba el viento.
658	3620 taparse	a	Le parecio' que nadie se tapa la cara asi' ma's que para llorar.
659	5818 taparse	a	.se tapo' la cara con las manos;
660	16928 taparse	a	La señora se tapo' la cara con las manos.
661	13438 tenerse	r	Creo que nos tenemos cari'no ,?no?
662	2702 ten'irse	a	Se ten'ri'a el pelo.
663	2713 ten'irse	a	Con una botella de agua oxigenada se tino' los cabellos,
664	17818 ten'irse	p	antes que los pensamientos de De Arco se tine'se de melancolia.
665	2902 tirarse	a	Se tiro' a sus brazos, antes de que ... tuviera tiempo de retroceder
666	16420 tocarse	j	Nunca se podia tocar un tema i'ntimo.
667	4204 traerse	m	no se' que concilia'bulos te trai'as con Mercedes en tu cuarto.
668	6016 tranquilizarse	e	Asi', pues, Lolita y Luis no tuvieron ma's remedio que tranquilizarse y
669	16822 transformarse	p	aquellas habitaciones se transformari'an por arte de magia.
670	1303 tratarse	i	Se trata de un parecido casi asombroso
671	1314 tratarse	i	si se trata de un me'dico de Barcelona
672	17006 tratarse	i	¡Ah, se trata de Pepe y Mari'a Teresa...!
673	17617 tratarse	r	Mis abuelos se trataron de usted hasta veinte años despue's de casados.
674	5306 tumbarse	d	Tumbarse en la cama di's a's enteros a ver si viene la muerte.
675	5816 venirse	m	Esta noche te vienes a mi cuarto, chiquita;
676	18311 verse	a	Fue como si se hubiese visto en un espejo entre aquellas dos mujeres
677	2209 verse	r	No nos podemos ver...
678	17820 verse	r	Nos vimos en unos momentos difi'ciles la u'ltima vez.
679	4308 verse	v	.y en lo que ella se ve'a envuelta...
680	5622 verse	v	Esta exclamacio'n i'ntima de don'a Elio'sa se vio cortada
681	14902 verse	v	Alicia se vio a si' misma con cierta ternura,
682	16031 verse	v	Luego, De Arco se vio andando por una calle gris,
683	3911 verse	i	... se ve'a un tazo'n y un trozo de pan amarillo,
684	14921 vestirse	d	tuvo la ocurrencia de vestirse de luto.
685	19315 vestirse	d	el poco garbo que para vestirse teni'a Alicia...
686	15109 volcarse	p	una masa humana, que se volco' en un barrio tranquilo,
687	2917 volverse	d	Se volvio', y sus ojos se abrieron con cierto espanto
688	13224 volverse	d	Se volvio' apenas al sentir a Alicia y la llamo'.
689	16809 volverse	d	Se volvio' y tropo' con la mirada hu'meda de don'a Ana.
690	18523 volverse	d	Se volvio' para mirar a su novia y
691	3309 volverse	e	.se habi'a vuelto asi', malhumorada y poco hospitalaria...
692	4628 volverse	e	Se esta' volviendo muy distrai'da...
693	16910 volverse	e	Temio' que su hija se hubiera vuelto loca.
694	17213 volverse	e	?Se habri'a vuelto loca su pobre hija?
695	19304 volverse	j	todas las cabezas de los comensales se volvieron hacia el tri'o.
696	1802 volverse	m	Pero ya no podi'a volverse atra's.
697	5721 volverse	m	Me vuelvo (a mi casa)...
698	5725 volverse	m	No tienes ahora ma's motivos para volverte a tu casa...
699	18801 volverse	m	Es usted muy duen'o de volverse atra's en la palabra
700	3121 volverse	p	Las cabezas del matrimonio se volvi'an como si un mecanismo las manejase
701	3612 volverse	p	Los viejos se vuelven como criaturas.
702	5509 volverse	p	La sonrisa de la abuelita se volvio' dura.
703	6308 volverse	p	parece que me he vuelto dintinta...
704	6411 volverse	y	Todo se le volvi'a de pronto tan natural, tan sencilla, tan limpio...
705	16007 volverse	y	El paraguas se le habi'a vuelto al rev'e's y,